

# SWB Series 取扱説明書

Aria

## 使用上のご注意

湿気の多い場所では使わない：水気、湿気の多い場所、風呂場、雨の日の野外では使用しないで下さい。

分解、改造、修理をしない：分解、改造、修理は故障の原因になります。

弦に顔を近付けない：演奏中や弦の交換、調整をするときに弦に顔を近付けないでください。弦が切れて顔にケガをする場合があります。特に切れた弦が目に入ると目を傷付け、場合によっては失明の恐れがあります。

さびた弦を使わない：さびた弦を張ったまま使用すると、指を切ってケガをすることがあります。さびた弦はできるだけ早く新しい弦と交換してください。

金属部のエッジでのケガに注意：乾燥により、金属部が木部からはみ出してくれる場合があります。このような状態で使用すると金属部のエッジで手などにケガをすることがありますので注意してください。金属部がはみ出してきた場合には、すぐ使用をやめ、お店を通して修理を依頼してください。

弦で指を傷付けないよう注意する：弦の先、切断面は非常に鋭くなっていますので、手を触れて手を傷付けないよう注意してください。チューニングやヘッドをクロスで拭く時には、弦の先端に手が触れないよう注意しながら行ってください。弦を交換した時には、弦の余った部分が手に触れないよう短く切り揃えてください。

弦を張り過ぎない：チューニングなどのために弦を張る時に、必要以上に強く弦を張りますと、切れてケガをする恐れがあります。特に切れた弦が目に入ると目を傷付け、場合によっては失明の恐れがありますので、弦を交換するときには顔を弦に近付けないようにしてください。

楽器を家具などに立てかけない：楽器を使用しないときには、湿気の多い場所や火の近くをさけ、ケースにしまい低い場所に置くかスタンドに立てて倒れにくい状態で保管してください。高い場所から落下したり、倒れるとケガや家具などを傷付ける原因になります。また、楽器を直接家具などに長時間立てかけると、表面の塗装を溶かしたり色移りする場合がありますので注意してください。

楽器を持ち運ぶときの注意：楽器をバッグやケースで持ち運ぶときには、ファスナーや止め金をしっかりと締め、バッグのショルダーストラップのフックがしっかりとからかっていることを確認してください。落下してケガをしたり物をこわす恐れがあります。また、バッグのファスナーやケースのフタで指をはさんでケガをすることがありますので十分に注意してください。

## 楽器の保管と運搬

●楽器は木製品です。過酷な温度・湿度条件には弱いものです。長時間自動車の中やストーブの近く、湿気の多い所などに放置すると、塗装フレ・ネット反りなどを起こし、さらにはボディのヒビワレなど回復不能な故障を起こすことがあります。楽器にも住み心地の良い場所を与えてあげてください。

●長期間使用せずにおく場合、季節による条件にも留意する必要があります。冬期には暖房によって室内もかなり乾燥しますから、押入れの下段など比較的空気の乾燥しない所においてください。また、夏期や特に雨季にはケース内に乾燥剤を入れたり、時々ケースから出すことも大切です。

●使用しない期間が短い場合、弦はチューニングしたままでかまいません。長期間使用しない場合（1ヶ月以上）は糸巻のツマミを1~2回転分ゆるめておくと安全です。ゆるめすぎたり、弦を外してしまってかえってよくありません。

●本体が汚れた場合は別売のシリコンクロスで軽く拭きとってください。汚れがひどい場合は、別売のポリッシュなどを本体またはクロスに少量かけ、軽く拭きとつてください。スプレーを使用した場合、最初は少し曇ったようになりますが、乾いたクロスで軽く拭き取れば本来の輝きに戻ります。

## プリアンプの機能と操作

プリアンプは単3電池2本で駆動します。電池ボックスはボディ裏側に搭載されています。音が出ない、小さい、音が割れる様な場合は、まず電池交換をお試しください。電池を交換する際は極性を間違わない様にご注意ください。また、交換用の電池はアルカリ電池の使用をお勧めします。

音を拾うピックアップはブリッジ台座の下にあります。弦交換の際などブリッジ台座がずれないようにご注意ください。

VOLUME: 楽器の出力（音量）を調整します。時計回りで音量が大きくなります。

BASS: 低音域を調整します。時計回りで低音域が強調されます。

MID: 中音域を調整します。時計回りで中音域が強調されます。

PRESENCE: 超高音域を調整します。時計回りで超高音域が強調されます。

MIC. VOLUME: MIC端子に接続したマイクの出力（音量）を調整します。マイクを接続していない時に上げるとノイズの原因となります。マイクを使用しない時は0にして使用してください。

SUBSONIC FILTER: 超低音域をカットします。通常はOFFで使用し、超低音域が原因のフィードバックが発生した際にONにするとフィードバックが改善する場合があります。

PRE SHAPE: ONにするとプリセットされた量の高音域/低音域を追加し、ロカビリー向けのサウンドを再現します。

BATT LOW: バッテリーが少なくなるとLEDが点灯します。点灯したら電池を交換してください。

MICジャック: ボーカルマイクを接続してベースの音と一緒に出力することができます。

HPジャック: ヘッドフォンを接続してアンプを使用せずに練習する事ができます。

AUXジャック: 音楽プレイヤーなどを接続して音楽と一緒に演奏する事ができます。

## Technical Information

Gain range: +7dB

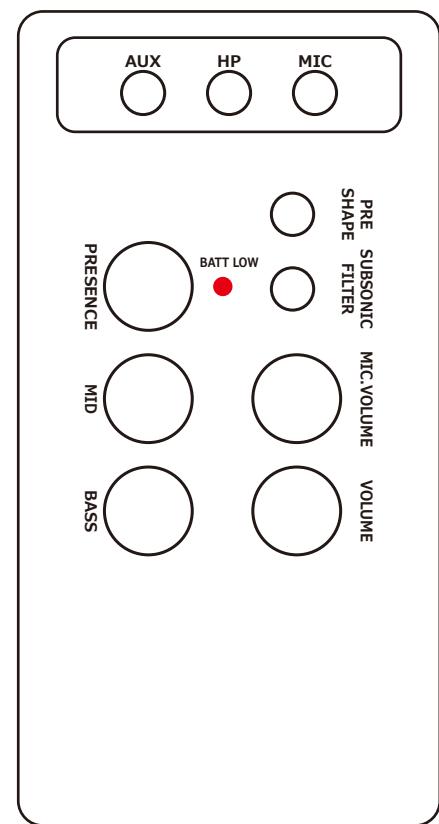
Frequency Response: 20-20.000Hz(3dB)

Subsonic: 12dB/Oct @ 50Hz

Bass: +/-8dB @ 135Hz

Mid: +/-9dB @ 900Hz

Presence: +/-10dB @ 9kHz



## 弦

弦を交換する際には、一般的なアップライトベース / コントラバス用の弦を使用可能です。出荷時に使用している弦 FW-1000 も販売しております。

## 付属品の取り付け

### SWB-300

付属品：バッグ、サポートアーム

ボディに付属のサポートアームを取り付けます。後ろ側（演奏者側）にアームが飛び出す向きで取り付けてください。演奏に必要無いと感じる場合は外しての使用も問題ありません。

エンドピンはボディに取り付けられていますので演奏しやすい高さに調整してしっかりと固定して使用してください。



### SWB-200

付属品：バッグ、専用スタンド

付属のスタンドを立てます。演奏に支障のない範囲で脚をしっかりと広げてネジを締めて固定します。

ボディ裏側の穴にスタンドをはめてネジを締めてスタンドと本体をしっかりと固定してください。

演奏しやすい高さ、角度に調整して使用してください。



 荒井貿易株式会社

〒464-0077 名古屋市千種区神田町 12-2  
<http://www.ariaguitars.com/jp>

